

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 グリーンホスピタルサプライ株式会社  
 コード番号 3360 URL <http://www.ghs-inc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日  
 配当支払開始予定日

(氏名) 古川 國久

(氏名) 小川 宏隆

TEL 06-6369-0130

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	26,164	11.5	212	329.4	287	12.8	91	608.3
21年3月期第1四半期	23,464		49		255		12	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	274.78	
21年3月期第1四半期	38.79	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	96,799	23,499	18.2	52,642.62
21年3月期	101,573	23,534	17.3	52,693.35

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 17,582百万円 21年3月期 17,599百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		0.00		1,650.00	1,650.00
22年3月期					
22年3月期(予想)				1,650.00	1,650.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期									
連結累計期間	53,000	4.4	1,040	26.6	1,040	2.9	445	17.5	1,332.33
通期	135,000	13.8	4,800	32.4	4,800	27.6	2,300	12.0	6,886.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他
- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他 をご覧下さい。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 以外の変更 無  
 (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他 をご覧下さい。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                    |             |          |             |          |
|--------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第1四半期 | 334,030株 | 21年3月期      | 334,030株 |
| 期末自己株式数            | 22年3月期第1四半期 | 28株      | 21年3月期      | 28株      |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 334,002株 | 21年3月期第1四半期 | 334,012株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成されたものであり、実際は今後の様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年秋からの世界経済同時不況の影響から引き続き厳しい事業環境となりました。

当社グループの属する医療業界では、近年の厳しい病院経営環境に加えて、昨年実施された診療報酬改定の影響による価格下げ圧力は依然として強く、販売単価の低下や機器更新需要の低迷が続いております。このような市場環境においても、当社グループは確実な成長を続けていくために、変化する顧客ニーズに応え得るサービス提供と企業づくりを目指し、連結各社の構造改革を昨年度より本格化させ、更に推し進めてまいりました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は26,164,992千円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益は212,638千円（前年同四半期比329.4%増）、経常利益は287,763千円（前年同四半期比12.8%増）、四半期純利益は91,778千円（前年同四半期比608.3%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示しますと、次のとおりであります。

## (1) トータルパックシステム事業

トータルパックシステム事業におきましては、例年どおり第4四半期での大型プロジェクト案件の売上計上を予定しており、年間計画に対する進捗率は低調な推移となりました。

以上の結果、売上高は5,055,098千円（前年同四半期比8.8%減）、営業損失は104,027千円（前年同四半期は営業損失37,073千円）となりました。

## (2) メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、昨年の償還価格引下げによる診療材料販売単価低下の影響を受けながらも、院外SPD、院内SPDともに契約件数が伸びたことにより販売数量が増加いたしました。また、昨年9月から加わった循環器系診療材料販売会社の業績が寄与して増収増益となりました。

以上の結果、売上高は16,339,174千円（前年同四半期比21.2%増）、営業利益は228,036千円（前年同四半期比64.8%増）となりました。

## (3) ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、全ての施設がオープン稼働しており、運営会社統合による施設運営能力強化と施設間の連携に注力して、全7施設の期末入居者数は1,013名となりました。

以上の結果、売上高は1,508,707千円（前年同四半期比22.4%増）、営業利益は73,744千円（前年同四半期比418.0%増）となりました。

## (4) 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新たに1店舗の出店を行うとともに、効率的な薬局運営と薬価差益の改善努力を継続いたしました。

以上の結果、売上高は3,069,656千円（前年同四半期比8.3%増）、営業利益は244,024千円（前年同四半期比36.3%増）となりました。

## (5) その他事業

その他事業におきましては、動物病院は安定的な業績を継続することができましたが、理化学機器分野は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は192,355千円（前年同四半期比47.8%減）、営業利益は14,969千円（前年同四半期比33.9%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は96,799,067千円となり、前連結会計年度末に比べて4,773,996千円減少いたしました。その主な要因は、短期貸付金が1,674,600千円、建物及び構築物が521,589千円、仕掛品が366,253千円増加した一方、受取手形及び売掛金が7,228,584千円減少したこと等によるものであります。

負債は、73,300,067千円となり、前連結会計年度末に比べて4,738,305千円減少いたしました。その主な要因は、賞与引当金が399,565千円増加した一方、支払手形及び買掛金が3,283,664千円、短期借入金が2,107,546千円減少したこと等によるものであります。

純資産は23,499,000千円となり、前連結会計年度末に比べて35,690千円減少いたしました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が426,281千円、四半期純利益により利益剰余金が91,778千円増加した一方、配当金により利益剰余金が551,103千円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は18.2%（前連結会計年度末比0.9ポイント増）となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,495,257千円の収入（前年同四半期連結会計期間比774,448千円収入増）となりました。その主な要因は、売上債権が7,226,669千円減少、賞与引当金が399,565千円増加し、減価償却費を356,401千円計上した一方、仕入債務が3,276,220千円減少し、法人税等を1,512,091千円支払ったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,005,218千円の支出（前年同四半期連結会計期間比1,729,880千円支出増）となりました。その主な要因は、長期貸付金の回収による収入が144,030千円あった一方、短期貸付による支出が1,700,000千円、有形固定資産の取得による支出が478,860千円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,055,605千円の支出（前年同四半期連結会計期間比27,793千円支出増）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入が1,500,000千円あった一方で、短期借入金の純減少額が2,107,546千円、長期借入金の返済による支出が810,498千円、配当金の支払額が551,103千円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて596,200千円減少し、8,197,770千円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね当初予想通りに推移しており、平成21年5月15日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、一部の連結子会社においては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、一部の連結子会社においては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる一定金額以上の工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更により、売上高は77,215千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ36,065千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,103,532	9,780,435
受取手形及び売掛金	27,485,039	34,713,624
有価証券	55,006	58,402
商品及び製品	5,220,060	5,270,097
仕掛品	2,492,500	2,126,246
原材料及び貯蔵品	460,819	410,511
その他	8,164,886	5,787,474
貸倒引当金	△161,999	△141,550
流動資産合計	52,819,845	58,005,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,617,204	8,095,614
土地	6,667,666	6,670,606
貸与資産(純額)	99,865	107,936
賃貸不動産(純額)	9,543,994	9,628,250
その他(純額)	968,539	1,201,560
有形固定資産合計	25,897,269	25,703,968
無形固定資産		
のれん	5,877,184	6,110,523
その他	550,559	591,705
無形固定資産合計	6,427,744	6,702,229
投資その他の資産		
長期貸付金	7,558,776	7,650,748
その他	6,132,654	5,490,793
貸倒引当金	△2,037,221	△1,979,916
投資その他の資産合計	11,654,209	11,161,625
固定資産合計	43,979,222	43,567,823
資産合計	96,799,067	101,573,064

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,212,809	30,496,474
短期借入金	9,808,011	11,915,558
未払法人税等	392,948	1,493,036
賞与引当金	1,137,714	738,148
その他	12,963,502	10,914,311
流動負債合計	51,514,986	55,557,529
固定負債		
社債	1,486,000	1,486,000
長期借入金	17,815,428	18,485,247
退職給付引当金	1,064,960	1,105,234
役員退職慰労引当金	101,666	156,466
その他	1,317,025	1,247,895
固定負債合計	21,785,080	22,480,843
負債合計	73,300,067	78,038,373
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,667,081	5,667,081
資本剰余金	6,593,306	6,593,306
利益剰余金	4,701,242	5,165,890
自己株式	△1,059	△1,059
株主資本合計	16,960,571	17,425,218
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	635,258	208,977
為替換算調整勘定	△13,088	△34,512
評価・換算差額等合計	622,169	174,464
新株予約権	2,000	2,000
少数株主持分	5,914,259	5,933,007
純資産合計	23,499,000	23,534,691
負債純資産合計	96,799,067	101,573,064

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	23,464,477	26,164,992
売上原価	20,498,389	23,023,411
売上総利益	2,966,087	3,141,581
販売費及び一般管理費	2,916,562	2,928,942
営業利益	49,525	212,638
営業外収益		
受取利息	172,246	154,718
受取配当金	26,207	28,949
貸倒引当金戻入額	83,464	—
持分法による投資利益	13,543	8,392
その他	103,933	100,248
営業外収益合計	399,395	292,307
営業外費用		
支払利息	183,394	149,464
その他	10,482	67,719
営業外費用合計	193,876	217,183
経常利益	255,043	287,763
特別利益		
固定資産売却益	1,861	37
事業譲渡益	—	35,000
特別利益合計	1,861	35,037
特別損失		
投資有価証券評価損	860	—
固定資産除却損	486	696
その他	33	—
特別損失合計	1,380	696
税金等調整前四半期純利益	255,525	322,104
法人税、住民税及び事業税	303,077	388,206
法人税等調整額	△66,187	△199,351
法人税等合計	236,889	188,854
少数株主利益	5,678	41,471
四半期純利益	12,957	91,778

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	255,525	322,104
減価償却費	395,797	356,401
のれん償却額	225,620	232,495
事業譲渡損益(△は益)	—	△35,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△131,018	77,754
賞与引当金の増減額(△は減少)	394,335	399,565
受取利息及び受取配当金	△198,454	△183,637
支払利息	183,394	149,464
持分法による投資損益(△は益)	△13,543	△8,392
売上債権の増減額(△は増加)	8,176,182	7,226,669
たな卸資産の増減額(△は増加)	△937,020	△368,756
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,093,816	△3,276,220
その他	239,980	41,108
小計	4,496,982	4,933,555
利息及び配当金の受取額	224,022	227,069
利息の支払額	△174,687	△153,275
法人税等の支払額	△1,825,508	△1,512,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,720,808	3,495,257
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△215,800	△328,900
定期預金の払戻による収入	—	413,506
有形固定資産の取得による支出	△82,045	△478,860
有形固定資産の売却による収入	11,997	37
無形固定資産の取得による支出	△121,089	△13,843
投資有価証券の取得による支出	△608,310	△1,567
投資有価証券の売却による収入	52,469	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,144,610	—
事業譲渡による収入	—	35,000
短期貸付けによる支出	—	△1,700,000
短期貸付金の回収による収入	2,593,885	25,400
長期貸付けによる支出	△5,940	△100,000
長期貸付金の回収による収入	225,538	144,030
その他	18,566	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△275,338	△2,005,218

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	274,660	△2,107,546
長期借入れによる収入	30,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△2,252,224	△810,498
リース債務の返済による支出	—	△10,447
配当金の支払額	—	△551,103
少数株主への配当金の支払額	△63,242	△59,199
その他	△17,006	△16,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,027,812	△2,055,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,866	4,770
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	421,524	△560,796
現金及び現金同等物の期首残高	7,105,229	8,793,971
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	211,031	△35,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,737,785	8,197,770

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	トータル パック システム事業 (千円)	メディカル サプライ 事業 (千円)	ヘルスケア 事業 (千円)	調剤薬局 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	5,545,659	13,483,682	1,232,670	2,834,149	368,315	23,464,477	—	23,464,477
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,870	101,095	14,921	—	18,442	197,329	△197,329	—
計	5,608,529	13,584,777	1,247,592	2,834,149	386,757	23,661,806	△197,329	23,464,477
営業利益又は営業損失 (△)	△37,073	138,375	14,236	178,997	22,663	317,200	△267,675	49,525

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) トータルパックシステム事業

医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等

(2) メディカルサプライ事業

医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等

(3) ヘルスケア事業

介護付有料老人ホームの運営、食事提供サービス業務等

(4) 調剤薬局事業

調剤薬局の運営等

(5) その他事業

理化学及び環境機器等の販売、動物病院の運営等

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	トータル パック システム事業 (千円)	メディカル サプライ 事業 (千円)	ヘルスケア 事業 (千円)	調剤薬局 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	5,055,098	16,339,174	1,508,707	3,069,656	192,355	26,164,992	—	26,164,992
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	148,022	10,864	916	618	2,804	163,226	△163,226	—
計	5,203,121	16,350,039	1,509,623	3,070,275	195,159	26,328,219	△163,226	26,164,992
営業利益又は営業損失 (△)	△104,027	228,036	73,744	244,024	14,969	456,746	△244,108	212,638

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) トータルパックシステム事業

医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等

(2) メディカルサプライ事業

医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等

(3) ヘルスケア事業

介護付有料老人ホームの運営、食事提供サービス業務等

(4) 調剤薬局事業

調剤薬局の運営等

(5) その他事業

理化学及び環境機器等の販売、動物病院の運営等

3 【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、トータルパックシステム事業において当第1四半期連結累計期間の売上高は77,215千円増加し、営業利益は36,065千円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。